



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2025

6

No. 831



吉敷・大歳・平川で合同訓練を実施
～鴻南方面隊1日訓練～



今年も盛況!
～よしき軽井沢通りマルシェ～



交通ルールを守ろうね!
～吉敷幼稚園(交通安全教室)～



おめでとう!中村町内会W優勝
～第52回吉敷地区大運動会～

CONTENTS

【トピックス①】
総会・代議員会を合同で
開催しました…… 2

インフォメーション…… 5

みんなで防災…… 6

レポート…… 6

ふれあいのまち吉敷…… 7

リレーエッセイ…… 7

イベントカレンダー…… 8

かけはし…… 8

YOSHIKI
DATA

【人口】14,551(前月比+33) 【世帯数】6,513(前月比+60) 令和7年5月1日現在





総会・代議員会を合同で

開催しました

5月13日(火)、地域づくり協議会総会、自治会、地区社会福祉協議会代議員会を合同で開催し、令和7年度の事業計画や予算などが可決されました。会議資料は、地域づくり協議会ウェブサイトに掲載し、事務局に閲覧用を備え付けています。

吉敷まちづくり計画の スローガンと活動目標

令和5年度から9年度までの5か年の「第2次吉敷まちづくり計画」において、スローガンを若い世代における積極的な地域活動への参加が必要であることから、「若い世代とともに築く笑顔あふれるふれあいのまち吉敷」と設定し、また、活動目標を「地域振興」「地域福祉」「安心・安全」「環境づくり」「地域個性創出」の5つの目標を設定しています。

三団体が一体となって進める

吉敷のまちづくり

山口市では、市が推進している「協働によるまちづくり」の住民組織として、市内の各地域に「地域づくり協議会」を設置しています。

吉敷地域では、吉敷自治会と地区協が、地域づくり協議会の運営に携わっており、三団体が一体となって吉敷のまちづくりに取り組んでいます。

令和7年度 吉敷自治会予算

(収入の部) (単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
会費	2,880,000	会費600円×4,800戸
助成金	道路維持活動	939,136 市道除草業務委託
	特林自治会活動補助金	100,000 市特林特別会計吉敷特別林野費
	その他	110,000 緑化募金奨励金
諸収入	返戻金	823,096 前年度地域づくり協議会自主財源精算
	雑収入	53,250 利息ほか
繰越金	1,941,518	コミタク運行資金積立金300,000円他
合 計	6,847,000	

(支出の部) (単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
事業費	自治会活動費	647,000 町内会会長会、こども会活動支援ほか
	地域づくり活動費	480,000 地域づくり協議会へ
	広報活動費	185,000 広報委員会へ(自治会負担分)
	消防費	1,305,000 市消防団吉敷分団後援
	地域防災費	50,000 地区防災会活動費
	道路維持活動費	939,136 市道除草業務委託事業
負担金	1,536,000	地域づくり協議会へ(事務費・人件費)
繰出金	300,000	コミタク運行資金積立金へ
事務費	370,000	コピー代、事務用品、切手代ほか
雑費	50,000	慶弔費ほか
予備費	984,864	
合 計	6,847,000	

「吉敷自治会」

吉敷自治会は、16の町内会・自治会で構成され、会費として一世帯600円を集め、様々な活動に取り組んでいます。地域住民どうしで助け合い住みよい地域を築いていくために、活動している組織です。

情報交換の場として

「町内会会長」を毎月開催

毎月第1木曜日に、地域住民の一番身近なコミュニケーションである町内会・自治会の会長が集まる「町内会会長会」を開催しています。

地域交流センターから行政情報も得ながら、地域の様々な情報の交換や共有、課題の提議・解決のために、協議・検討を行っています。

令和7年度 町内会・自治会 会長名簿

町内名	会長名	摘 要
吉 敷 畑	吉 村 正 志	
中 尾 西	重 富 幸 男	
中尾東上	村 田 睦 夫	
中尾東下	長 沼 隆 行	
緑 ケ 丘	村 上 竜 司	
赤 田	河 内 義 尚	吉敷自治会副会長
佐 畑	中 村 秀 行	吉敷自治会会長
中 村	中 尾 巧	

町内名	会長名	摘 要
木 崎	刀 禰 尚 之	
木崎団地	斉 藤 和 宏	
上 東	佐 伯 悟	吉敷自治会会計
上東住宅団地	吉 岡 美 香	
下 東	内 田 秀 高	吉敷自治会副会長
京面団地	石 田 哲 也	
大 橋 町	合 志 栄 一	
稲 葉 町	井 上 茂 夫	
	河 合 照 夫	

吉敷地域の振興のため 自治会活動の推進

安心・安全な地域づくりを進めるため、各町内会・自治会と連携し、地区防災会活動を展開することとしています。

また、地域を守る市消防団吉敷分団の後援活動や市道除草業務の受託、広報活動、子ども会やスポーツなどの活動支援、河川美化などの景観づくりのため、河川一斉清掃にも取り組んでいます。

令和7年度 地域づくり協議会予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
交付金	9,614,000	事業費4,170,000 人件費4,730,000 事務費 714,000
補助金	3,030,000	ホタル増殖保護事業30,000 市特別林野特別会計吉敷特別林野費3,000,000
繰入金	4,228,000	自治会 (事業費480,000 人件費1,173,000 事務費363,000) 地区社協 (事業費100,000 人件費1,966,000 事務費104,000) 地域交流センター運営協議会 (事務費42,000)
繰越金	326,535	えがお食堂よしき寄付金 313,727 吉敷地区広報委員会 12,808
雑収入	430,465	良城(よしき)商工振興会協賛金 (まつり:40,000、環境づくり:10,000) ぬいぐるみチャーム:30,000 コピー利用料:350,000 利息465
合 計	17,629,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
地域振興	367,465	ふれあいネットワーク
	500,000	よしきフォトコンテスト
	280,000	人材発掘に向けた交流事業
	320,000	夏まつり
	470,000	ふるさとまつり
	50,000	コミュニティタクシー運行事業
	497,808	吉敷地区広報委員会へ
	183,000	吉敷地区人権学習推進協議会へ
	70,000	こどもドリームプロジェクト
	80,000	ホタル観賞のタベ
	50,000	動画による活動団体の紹介
	50,000	軽井沢通りマルシェの支援
	3,000,000	まつりの野外ステージ製作
	220,000	夏まつりの櫓手すり製作
地域福祉	250,000	大運動会
	30,000	多世代交流グラウンドゴルフ大会
	313,727	えがお食堂よしき
安心・安全	150,000	吉敷地区防災会へ
	100,000	反射鏡・交通安全施設の充実
	230,000	交通安全・防犯対策協議会へ
	79,000	青少年健全育成協議会へ
環境づくり	170,000	ホタル増殖・放流事業
	270,000	環境づくり推進協議会へ
地域個性創出	456,000	文化振興協議会へ
協議会運営	1,573,000	事務費ほか
	7,869,000	事務局人件費(事務局長1名、事務局員4名)ほか
合 計	17,629,000	

「地域づくり協議会」

地域づくり協議会は、市の地域づくり交付金を主な財源とし、地域課題の解決のため、地域の皆さんや地域づくり関係団体とともに策定した「第2次吉敷まちづくり計画」に基づき、各自治会・町内会を始めとした地域の団体と連携し、様々な活動などに積極的に取り組んでいます。

自家用車に代わる地域の公共交通 「コミタク良城」運行乗車率向上へ

運行を開始した令和3年度は、コロナ禍ということもあり、利用者が当初の見込みを大きく下回っていましたが、その後、年々増加しています。
昨年度は停留所を新設するなど運行ルートの見直しを行いました。
町内会・自治会や良城商工振興会と連携し、引き続き利用者の増加に努めています。

ふれあいネットワーク協議会による 地域の見守りやあいさつ運動の推進

吉敷では、学校や地域関係団体で構成する「ふれあいネットワーク協議会」を設置し、見守りやふれあいあいさつ運動の総合的な推進を図っています。
また、このためのステッカーやピンバッジを作成し、散歩などを行っている際に見守りを行う「ながら見守り」に地域ぐるみで取り組んでいくとしています。

地域の歴史や文化を活用した 個性あふれるまちづくりの促進

国の史跡に指定されている凌雲寺跡の活用を図るため、徳山工業高等専門学校歴史意匠研究室に委託し凌雲寺の模型を製作しました。
今後、良城小学校や鴻南中学校の学校教育に役立てていただくとともに、吉敷地域の社会教育等に活用していくとしています。

令和7年度 地区社会福祉協議会予算

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民会費	2,230,000	住民会費500円×4460戸
市・市社協助成金	1,482,500	敬老行事
	1,887,614	地区社協活動費・事務費
	89,630	福祉員協議会活動費
市社協委託金	124,450	小地区見守り活動
	270,000	ふれあい型給食
	10,000	地域福祉活動計画
共同募金配分金	889,738	地域福祉活動費
寄付金	100,000	香典返し、寄付金
繰入金	452,000	事務費(もみじ学級・げんきやかた・ふれあい型給食)
繰越金ほか	4,133,068	前年度繰越金、利息、返戻金
合 計	11,669,000	

〈支出の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民活動費	1,541,800	敬老行事等町内会助成
	185,000	広報活動費
	100,000	サロンの運営支援
	202,000	多世代交流や福祉関係団体交流の促進
	538,000	地域福祉活動の促進、小地区見守り活動の推進ほか
厚生保護費	249,630	民生委員児童委員協議会、福祉員協議会助成
	320,000	福祉団体助成
	290,000	ふれあい型給食会活動費・助成
諸費	40,000	弔電、挨拶状ほか
負担金	2,340,550	市社協会費、市社協バス負担金
事務費	300,000	会議費、事務用品ほか
雑費	20,000	慶弔費
繰出金	2,170,000	地域づくり協議会へ(事業費、人件費、事務費)
	0	財政調整積立金
予備費	3,372,020	
合 計	11,669,000	

「地区社会福祉協議会」

地区社協は、吉敷自治会をはじめ、民生委員児童委員協議会や福祉員協議会などの関係団体で構成され、住民会費や共同募金などを主な財源として活動している団体です。

「第2次吉敷まちづくり計画」に基づき、様々な福祉活動を展開し、社会福祉の増進を図っています。

交流でつながりともに支え合う心豊かに暮らせるまち

今年度もボッチャやペタンクによる交流事業を開催し、町内や世代を超えた交流を促進していきます。

また、地域で活動されている福祉関係団体どうしが連携・協力しながら生活課題を解決することを目指し、より一層地域の「つながり」を深めていきます。

身近な地域での憩いの場で仲間づくりや生きがいづくり

吉敷地域では、地域の皆さんが身近な場所で開催する仲間づくりや生きがいづくりができるよう、全町内会へのサロンの設置を目指しています。

地域内に設置されているサロンを支援していくとともに、高齢者生きがいセンターを市から指定管理を受け、運営・管理していきます。

みんなで見守り支え合い安心して暮らせるまちづくり

高齢者等が安心して暮らし続けるために、町内会長、民生委員、福祉員が中心となったグループにより、見守り訪問活動を継続して行っています。ふれあい型給食会では、月1回、見守りが必要な高齢者へ、小学生からの手紙を添えて手づくり弁当を届けています。



ペタンク交流大会



サロン交流会の様子

イベント案内

子育て講座

「あなたの体は大丈夫？」

子どもたちはパパとママの笑顔がだいすき♡一緒に自分の健康に矢印を向けてみませんか？
10時～11時にヨガ、11時～保健師さんからのお話、その後カフェタイムを予定しています。

【とき】6月23日(月)10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】Rina先生(ヨガ)、市保健師

【対象】小学生までの子を持つ保護者16名(先着順)

【参加費】100円

【託児有(要申込)】

【持参物】タオル、飲み物、筆記用具、動きやすい服装

【主催】母子保健推進協議会

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-9222-3915

七夕がざりづくりのご案内

地域交流センターにかざる七夕のかざりを作りますか☆

【とき】6月28日(土)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】小学生20名(先着順)

【参加費】無料

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-9222-3915



「よしき夏まつり」出店者募集

今年の夏まつりを出店で盛り上げてくれる団体を募集します。

【まつり開催日時】

8月13日(水)18時～21時

【場所】地域交流センター前広場

【募集予定数】8～10店舗

※応募多の場合は実行委員会にて選考

【応募条件】

①主に吉敷地域で活動する営利を目的としない団体

②祭りを楽しく共催できる団体

③実行委員会での決定・注意事項を厳守できる団体

④会場全般の準備・片付けが実施できる団体

⑤消火器等、出店に必要なものを準備できる団体

【応募締切】6月20日(金)

【申込・問い合わせ】

よしき夏まつり実行委員会

☎083-9222-3344



肺がん(結核)検診

早期のがんは自覚症状がないことが多いため、定期的な検診受診が必要です。40歳以上で、職場等で検診、人間ドック等を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。

【とき】6月24日(火)9時～16時(12時から13時は除く)

※9時～10時は混雑するため、10時以降または午後からの受診がおすすめです。

【場所】吉敷地域交流センター 講堂

【持参】がん検診等受診券(5月下旬発送)

【負担金】300円(令和7年4月1日時点で40、45、50、55、60歳の方、昭和36年4月1日以前に生まれた方は無料)

【予約】不要

【咳痰検査】

肺がん検診と同時に受診可。

【対象】肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方

【負担金】700円(70歳以上の方、「後期高齢者医療被保険者証」を提示された65～69歳の方、70歳未満で市民税非課税世帯の方(要事前申請)は500円。)

※荒天時は、延期または中止となる場合があります。

【問い合わせ】山口市保健センター

☎083-9221-2666

一緒に学びませんか

吉敷地区社協講演会

近所づきあいが希薄になっている今、会話は人間関係を築き、理解を深め、協力し合う上で非常に重要な役割を果たします。また会話には、ストレスの軽減や、脳の前頭葉を活性化させ、思考力や集中力を高める効果が期待できます。そこで、吉敷地区社会福祉協議会では、会話のプロである、ラジオDJの大和良子氏をお招きし、講演会を開催します。会話を円滑に進めるポイントをわかりやすく講演していただきますので、この機会にぜひ一緒に学びましょう。

【とき】7月6日(日)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】大和良子 氏(ラジオDJ)

【演題】つながる力「会話がもたらすコミュニケーションの重要性」

【対象】吉敷在住の方

【定員】80名(要申込・先着順)

【申込締切】6月27日(金)

【主催・申込】地区社会福祉協議会

☎083-9222-3344

※駐車場に限りがありますので、お近くの方は徒歩や自転車での来場に御協力をお願いします。



日頃の備えが大事です 命を守るローリングストック

ローリングストックとは

全てのライフラインが止まることを想定し、常温保存が出来、簡単に食べられる物を備蓄しましょう。

ローリングストックとは、日用品を少し多めに購入し、日常生活で古いものから順に消費し、食べたものを買い足し補充しながら、備蓄して行く方法です。

どれだけ備蓄に適した食材であつても、好みの味でなかったり、上手に調理できなかったりすればお勧めの備蓄食材とは言えません。自分や家族が食べ慣れているものや、好きなものを備え、上手に食べて消費する事が大事です。



火を使わない非常食

【ピーラーを使った野菜のサラダ】

・人参 半分

・きゅうり 1本

・大根 150g

・顆粒だし 小さじ一杯

・酢 小さじ二杯

・いりごま 小さじ一杯

野菜はポリ袋にピーラーでスライスしながら入れ、この中に調味料を加え揉んで味をなじませます。

【ごま油香るツナうどん】

・冷凍うどん 自然解凍

・ツナ缶 オイルごと一缶

・醤油 小さじ二杯

・ごま油 小さじ一杯

よく混ぜ合わせたら完成。ツナの旨味とごま油の香りが食欲をそそります。夏には特に食べやすく、スタミナ回復にも効果的です。

【乾物で酢の物】

・切干大根 13g

・乾燥わかめ 4g

・水 100g

・調味液：酢、醤油、砂糖、ごま油 各適量

ポリ袋に乾物と水を入れ、乾物が柔らかくなるまで戻します。水を軽く絞り、調味液で味付けします。

(吉敷地区防災会)

レポート

吉敷地区大運動会を開催

4月20日(日)、「第52回吉敷地区大運動会」を開催しました。天気は雨予報でしたが、当日は曇りとなり、予定通り開催することができました。

採点がなく、参加者のふれあいを目的とした「ふれあい競技」が6種目。採点のある「町内対抗競技」が10種目。参加された皆さんは本気で、競技に臨みました。



6チーム(8町内)で競った真剣勝負の末、町内の枠を越えた交流の場にもなりました。



午後から雨足が強くなり、急遽短縮して開催しました。白熱した大会は、令和5年度に引き続き、中村町内会のW優勝(総合、応援の部)となりました。参加された皆さん、お疲れ様でした!

吉敷川河川公園の清掃活動

5月11日(日)、地域づくり協議会と環境づくり協議会により、吉敷川河川公園付近で草刈りやゴミ拾いなどの清掃活動を行いました。

各町内会・自治会から46名が参加され、皆さんの協力により河川公園をきれいにすることができました。



郷土料理と野菜たっぷり中華麺

5月13日(火)、地域交流センターにて、「郷土料理と野菜たっぷり中華麺」を開催しました。

総勢10人の参加があり、食生活改善推進員の皆さんに教わりながら簡単な中華麺の作り方、郷土料理を学びました。郷土料理の作り方には少しコツがいるようで苦戦しながらもおいしい郷土料理を作っていました!





ふれあいのまち 吉敷

地域のふれあいや交流活動に取り組んでいる地域づくり関係団体をご紹介します

吉敷地区社会福祉協議会 ともに支え合い心豊かに暮らせるまちづくり

【活動目的】

吉敷地域の社会福祉を増進することを目的とし、地域住民が中心となり「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて、様々な福祉活動を展開している団体です。

【活動内容】

- 見守りやふれあいあいさつ運動の推進
- 高齢者の地域交流の促進(サロン活動、ペタンク、ボッチャの促進等)
- 子育ての支援
- 健康づくりの推進
- 共同募金の推進
- 山口市からの指定管理を受け「放課後児童クラブもみじ学級」と「高齢者生きがいセンターげんきやかた」の管理・運営



笑顔でおはよう!「あいさつの日」

【今後の課題】

- 福祉活動の担い手の高齢化に伴い、これから担い手となる若者の人材の発掘・育成・支援が必要です。

住民や各種団体との更なる交流を推し進め、「見守り合い、支え合う地域」の実現に取り組んでいくこととしています。

皆さんもいっしょに活動してみませんか!



吉敷の見守りマスコットキャラクター
「ホウちゃんベンちゃん」

吉敷地区社会福祉協議会
TEL 083-922-3344

リレーエッセイ

Relay Essay

060

はら おか たつ や
原岡 辰也 さん(佐畑)



この春から、良城商工振興会へと入会いたしました原岡辰也と申します。25年前に学校を卒業して以来、生活協同組合コープやまぐちにお世話になり、宇部の配送センターや泉町にある、ここといずみ店などを経て、現在は朝田の流通センター内にある本部事務所にて、人事労務の仕事に従事しています。

出身は宇部市で吉敷地域には新婚当初、赤田のアパートに1年半ほど住んでいました。宇部では見たことも無かった蛍が普通に家の周りに飛んでいることにびっくりしたこと、夜は真っ暗になりますが星空がとても綺麗だったことを覚えています。新婚当初で思いがかなり美化されているかもしれませんが…。

その後転勤で宇部に戻ったのですが、15年前3人目の子供が生まれる際に、家を買うなら吉敷の環境がとても良かったよねと家族で話し合い、現住所へと

転居してきました。吉敷幼稚園や良城小学校も近く、当時の職場(いずみ店)にも近いことも決め手でした。

吉敷へと来た当初は知り合いもいなかったのですが、縁あって商工会議所の青年部に入会し、様々な行事へと参加する中で知り合いも増えました。子供たちも、吉敷のあたたかい人と豊かな自然に育まれ、今ではすっかり吉敷地域が第二のふるさととなりました。

山口県全体では、毎年1万人以上も人口が減り、空き家の増加や買い物難民の増加など、様々な問題も発生しています。そんな中で、吉敷地域は昔から暮らしておられる方々が、私たちのように新しく移り住む人々を迎え入れ、活気あふれる地域を作り出せています。そこが吉敷地域の強さではないかと思えます。

これからも、先人が築き上げた土台を大事にしつつ、今後も住み続けたいと思える吉敷地域になるよう、活動を頑張っていきます。



1日	
2月	●あいさつの日
3火	
4水	
5木	●町内会長会 18:30～
6金	
7土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
8日	
9月	●吉敷ペタンク同好会練習 9:00～ ●広報委員会 17:00～
10火	
11水	
12木	
13金	
14土	
15日	●レノファ山口FC VS いわきFC 14:00～（みらスタ） ●吉敷ボッチャ大会
16月	
17火	

18水	
19木	●ふれあい型給食会
20金	
21土	●えがお食堂よいき 11:00～13:00 ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
22日	
23月	●吉敷ペタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●子育て講座「あなたの体は大丈夫？」 10:00～12:00 P.5
24火	●肺がん検診・喀痰検査 9:00～16:00（12:00～13:00は除く） P.5
25水	
26木	
27金	
28土	●セタかざりづくり 10:00～11:30 P.5 ●レノファ山口FC VS ブラウブリッツ秋田 19:00～（みらスタ）
29日	
30月	

7月のおもなイベント

6日

吉敷地区親睦ソフトバレーボール大会

吉敷地区社協講演会 P.5

7月

あいさつの日

ご近所同士のお付き合いの大切さ

私は長年暮らす町内会で、体育委員会長を務めています。町内に7地区ある各体育委員会の任期は1年です。最初は皆さんどんな活動をするのか？特に初めての方は戸惑っておられますが、1年後の任期満了時に行う新旧引継ぎ会の時の活動の感想時に、今までわからなかったご近所の様子が活動を通じて「ほんの少しでもわかってよかった！」と言ってもらえることを目標に一緒に活動させてもらっています。近年回覧での募集は反応が少なく、そこで活躍していただく手法が「体育委員さんのお声掛け」です。個人情報等の制限もあるため、少ない手掛かりで過去の参加者を探しに自分の足で回ってもらっています。それが何より近所を知り地域を知ることにつながる近道です。「役員になる＝負担」と思われるかもしれませんが、「人を知る特権を得た」という前向きな考え方も、より良い地域づくりには必要ではないでしょうか。

最後に、ご近所付き合いのラストな美談（白馬の奇跡）をQRコードで紹介します。

広報委員 植野伸一



[発行・編集]

吉敷地区広報委員会（〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号）

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター総合支援担当（地域）

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター総合支援担当（行政）

☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト

フェイスブック・インスタグラム

<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

